

2014年12月実績概要（メモ）

（2015. 1. 21）

1. 生産動向

イ) エチレン 631, 200トン

前月比 + 7. 3% (+ 42, 700トン)
前年同月比 + 1. 5% (+ 9, 200トン)

生産増減に係る諸要因	＜前月比＞	＜前年同月比＞
日数増減	+ 3. 3%	-
定修要因等	+ 2. 8%	-
能力増減	-	▲ 4. 8%
稼働率変動	+ 1. 2%	+ 6. 3%
生産増減率	+ 7. 3%	+ 1. 5%

稼働プラントの実質稼働率試算：前月94. 7%→当月 95. 7%←前年同月90. 2%
定修プラント：前月 なし → 当月 なし ←前年同月 なし
2014年間生産量 6, 649. 4千トン 前年比▲0. 6%

ロ) 主な石油化学製品

前月比では、日数の増加等に伴いLD、PS、塩ビ樹脂、塩ビモノマー、EG、SBR、ベンゼン、トルエンなどの14品目がプラス。HD、EG、アセトアルデヒドの3品目は主に稼働率要因からマイナスとなった。

前年比では、稼働率要因等からLD、PP、PS、SM、AN、SBR、BR、ベンゼン、キシレンなどの12品目がマイナス。塩ビ樹脂、塩ビモノマー、トルエンなどの5品目はプラスとなった。

2. 樹脂の生産・出荷状況（LD、HD、PP、PS）

イ) 生産

前月比では、主に日数の増加からLD、PP、PSはプラス。HDは稼働率要因からマイナスとなった。前年比では、稼働率要因等からLD、HD、PP、PSの4樹脂揃ってマイナスとなった。

ロ) 国内出荷

前月比は、年末休暇に伴う営業日数の減少と原料動向からの先安感が広まり、LD、HD、PP、PSの4樹脂でマイナスとなった。

前年比では、前年の出荷が消費税増税前の駆け込み需要増から比較的高めにあった。これに加え原料動向を巡る先安感もあり4樹脂ともほぼ全ての分野で出荷が減少しマイナスとなった。

ハ) 輸出

アジア域内の需要動向については依然として低調であり、当月は前月比で、HD、PPがプラスとなったが、LD、PSはマイナス。前年比でもHD、PPは微増、LD、PSはマイナスとなっている。

ニ) 在庫

在庫量は、LD、HD、PP、PSの4樹脂で増加した。在庫率(季節調整済)ではLD、PPは前月に対して横ばい、HDはやや低下、PSは上昇した。在庫水準としては、LD、HD、PP、PSとも高めかやや高めとなっている。

	前月対比増減量 (単位:トン)	季節調整済在庫率 (単位:ヶ月)	
		11月末	12月末
LD	+ 23, 200	3. 5	3. 5
HD	+ 4, 600	2. 7	2. 5
PP	+ 16, 800	2. 8	2. 8
PS	+ 4, 400	1. 3	1. 5

以 上